

形 成 外 科 学

1 担当教員名

【 研究指導教授 】 教授 古 川 洋 志

【 科目担当者 】

2 教育目標

(1) ねらい

- ・形成外科の最先端の医療を知る。
- ・創傷治癒のメカニズム, ケロイド肥厚性瘢痕の病態解明に関する研究方法を体得する。

(2) 学修の到達目標

- ① 母斑・血管腫・血管奇形の標準的な疾患分類を説明できる。
- ② 微小血管吻合を用いた高難度手術に参加できる。
- ③ ケロイド・肥厚性瘢痕のメカニズム解明をめざした分子医化学的実験を実施できる。

3 授業内容

【 講 義 】	母斑・血管腫・血管奇形の最新の疾患概念と最新のレーザー治療
【 演 習 】	悪性腫瘍切除後の再建外科手術に参加し、手技に習熟する。周術期の管理方法を体得する。
【 実験研究 】	分子医科学研究所と共同実験で、ケロイド形成に関与する細胞間質の解明に携わる。

4 成績評価の方法・基準

レポート(手術の場合は手術記録)の提出を求める。レポートに基づき口頭試問を実施する。

5 教科書・参考図書

形成外科治療手技全書(全7冊完) (克誠堂出版 2017)

Color Atlas of Vascular Tumors and Vascular Malformations (Cambridge University Press 2007)

その他, 適宜指示する。

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

事前にテキストに目を通しておく。(1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。)

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

ケロイド・肥厚性瘢痕等に関する論文作成を通して, 形成外科学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究実践力を身につける。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポート・手術記録について口頭試問を実施して評価する。内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

9 履修上の留意点

特になし。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	古川 洋志	月	15:00~18:00	C棟8階教授室	内線 22236